

1. 調査報告概要表

[認知症対応型共同生活介護用]

作成日 平成20年9月26日

【評価実施概要】

事業所番号	2772401895
法人名	社会福祉法人 まりも会
事業所名	グループホーム樹の実
所在地	枚方市春日北町4丁目1-20 (電話) 072-859-6117
評価機関名	社会福祉法人 大阪府社会福祉協議会
所在地	大阪市中央区中寺1丁目1-54 大阪社会福祉指導センター内
訪問調査日	平成 20年 9月 4日

【情報提供票より】(平成 20年 8月 1日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 15年 4月 1日		
ユニット数	2ユニット	利用定員数計	18人
職員数	23人	常勤11人, 非常勤12人, 常勤換算17.51人	

(2) 建物概要

建物構造	鉄筋コンクリート 造り		
	2階建ての	1階 ~	2階部分

(3) 利用料金等 (介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	50,000円	その他の経費(月額)	30,000円	
敷金	有(円) ③			
保証金の有無 (入居一時金含む)	④ (200,000円)	有りの場合 償却の有無	④ / 無	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり		1,500円	

(4) 利用者の概要 (平成 20年 8月 1日現在)

利用者人数	17名	男性	3名	女性	14名
要介護1	1名	要介護2	5名		
要介護3	8名	要介護4	2名		
要介護5	1名	要支援2	0名		
年齢	平均 85.6歳	最低	74歳	最高	98歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	医療法人りんどう会 双葉クリニック・向山病院、北川歯科医院
---------	-------------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

地域で長年保育園や障害福祉事業を展開してきた社会福祉法人まりも会が、枚方市の東部地区で認知症になっても安心して暮らせるホームを目指して開設しました。保育園に隣接し、中庭で園児の遊ぶ様子や声を聞くことができるなど、世代間交流が実現でき、利用者は窓から園児を見守る姿が見られました。施設長は保育園に長年勤務した経験もあり、地域の知り合いも多く、地域との交流に活かせるよう努力しています。また、副施設長がキャラバンメイトとして、地域の要望に応じて講演や、要望があれば講演の一部を受け持ったり、介護相談を行ったりするなど、積極的な姿勢を持っています。新人職員の教育にOJTを取り入れて、職員の研修や資格習得に力を入れています。田園風景の中にあり、玄関には毎年つばめが巣を作ってみんなを楽しませてくれています。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連科目:外部4) 地域との関連性について、常勤職員を中心に検討しています。今後は引き続きパート職員も含めた全職員での検討を重ねる努力をする予定です。環境整備、災害時の備蓄等については、さらによりよいものを目指して努力しています。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) 施設長(管理者)、副施設長、介護リーダーを中心に、職員は評価の意義や目的を共有し、自己評価の内容を何度かに分けて会議し検討しています。改善点については、環境整備の見直しや理念について検討しています。
重点項目②	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6) 運営推進会議は規定、規約を作成し2ヶ月に1度開催しています。利用者家族の委員より職員の名前と顔を表示して欲しいとの要望を取り入れて改善しています。また地域の要望でホーム前に面した道路に自治会設置の電灯がつけました。枚方市立の会館で作品展示を提案され、出品する作品作りをしています。認知症キャラバンメイトの講師として職員を派遣しています。地域包括支援センターの職員も運営推進会議に参加してもらっています。
	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8) 「樹の実だより」にて毎月行事案内や利用者の様子、職員の異動などを知らせています。変化があった時には電話で伝えています。金銭管理について基本的には立替制度をとっています。個別の出納ノートに記入し、領収書と共に請求書を送付しています。玄関脇に意見箱を設置しています。また家族参加の楽しい取り組みを開いています。クリスマスには家族を招待して、食事やゲームなどをし、その様子をビデオに記録しています。また、年1回は必ず家族との話し合いの機会を持ち、緊急時の対応について、家族の意向や医療面での相談などを行い、相互理解を深めるような話し合いをしています。
重点項目③	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 自治会の役員から地域行事のお知らせがあり、民生委員との連携もあります。地域の老人会サロンで職員が三味線を披露したり、地域の盆踊りでは、自治会より場所の確保や椅子を用意してもらったりしています。また、公園や農道を散歩して野菜をもらうこともあります。商店や理美容室なども馴染みの関係作りができています。
重点項目④	

2. 調査報告書

(部分は重点項目です)

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「自分らしさを大切にし、生きがいの持てる暮らしを共に作りましょう」「地域の中で共に暮らし、地域の皆さんと支え合いましょう」をホームの理念として職員全員で作りました。地域密着型サービスとしての役割を踏まえた内容になっています。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	日常的に職員の目に触れる場所である玄関に理念を掲示し、職員、利用者、家族にも浸透するよう取り組んでいます。ミーティングや申し送りの際も業務が理念にあっているか確認しあう努力をしています。また、地域密着型サービスの意味についても職員への声かけを積極的に行っています。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに務めている	自治会の役員から地域行事のお知らせがあり、民生委員との連携もあります。地域の老人会サロンで職員が三味線を披露したり、地域の盆踊りでは自治会より場所の確保や椅子を用意してもらったりしています。また、公園や農道を散歩して野菜をもらうこともあります。商店や理美容室などとも馴染みの関係作りができています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	施設長（管理者）、副施設長、介護リーダー、職員は評価の意義や目的を共有し、自己評価の内容を何度かに分けて会議し検討しています。また環境整備の見直しや理念について検討し、改善の努力をしています。		
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は規定、規約を作成し2ヶ月に1度開催しています。会議メンバーとして、地域包括支援センター職員、自治会長、民生・児童委員・家族・法人役員・管理者・副施設長・職員が参加しています。また会議録も整備し、委員から出された要望も検討しています。地域の要請により、防犯にも資するためホーム前に街灯を設置しました。その他職員の名前と顔をホーム内で表示することや、市立会館で作品展示をするなど、続々と実現しています。会議欠席者には記録を送付しています。今後、規約には個人情報に関する項目を加えられることが期待されます。		
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会づくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市町村の担当者には日常的に相談、協議ができるような関係作りをしています。認知症キャラバンメイトとして、職員が地域包括支援センターと協働し、認知症キャラバンの活動にも参加しています。枚方市グループホーム連絡会や、グループホーム東部地区連絡会を作り、3ヵ月毎の定例会や日常的な交流を図っています。枚方市介護支援専門員連絡協議会等にも参加しています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	「樹の実だより」にて毎月行事案内や利用者の様子、職員の異動などを知らせています。利用者の変化があった時には電話で家族へ伝えていきます。金銭管理について基本的には立替制度をとっています。やや高額の出費があるときは連絡して承諾を得ており、個別の出納ノートに記入し、請求内容を知らせ、後日領収書も家族へ送付しています。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	玄関脇に意見箱を設置しています。また年1回家族の集まる会を開いています。クリスマスには家族を招待して、食事やゲームなどをし、その様子をビデオに記録しています。面会時に利用者と昼食を摂る機会もあります。また、年1回は必ず家族との話し合いの機会を持ち、時間をかけて苦情や意見について話し合っています。家族の要望に応じて、職員全員の名前入りの顔写真をホームに掲示しています。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	開設以来、管理者職員は継続して勤務しており、介護職員も8割以上が2年以上の継続勤務です。やむを得ない職員交代時には、引き継ぎや研修を重視し、利用者には丁寧に紹介し、動揺等を最小限に抑える努力をしています。「樹の実だより」においても職員の異動を紹介しています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修を重視しています。外部研修に関しては、職員の希望する研修に積極的に参加できるように配慮しています。内部研修については実施内容を吟味し、パート職員の参加も可能になるように考慮して計画的な取り組みを検討しています。○J T (On the job Training) を導入し、先輩職員がともに仕事をしながら新人職員を育成するよう努めています。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	地域のグループホームの管理者や職員と交流を持っています。近隣の老人保健施設や特別養護老人ホームの相談員との交流もあります。全国認知症グループホーム協会や大阪認知症高齢者グループホーム協議会、枚方市グループホーム東部地区連絡会、枚方市介護支援専門員連絡協議会にも加入しています。また、相互訪問の機会もあります。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	ホームに1ヶ月の仮入居（体験入居）の機会を設けています。本人がなじめるか、他者との関係性はどうか、家族の意向はどうかなどを踏まえて期間が設けられています。今秋を目標に、通所介護や短期入所導入の検討を予定しています。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員は利用者と共にできる限り調理の準備を行い、お寿司の盛り付けに使用するお皿を選択してもらうこともあります。その他に歌詞カードや献立を書いてもらったり、ズボンの裾上げや編み物、座布団カバーを作ってもらったり、刺し子（手芸の一分野）を楽しんでもらう等、利用者が日々充実した生活が送れるよう努めています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々の関わりの中で声かけ、状況把握に努めています。利用者の言葉や表情から、思いを読み取ったり、確認をしたりしています。利用者からお墓参りに行きたいとの要望があったりするときは、家族に相談しています。入居前の生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、心身の状態などを職員全員が把握できるように心がけています。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	全体会議に職員が参加し、また利用者や家族の意見を取り入れて介護計画を作成しています。また、アセスメントシートも作成、利用者の生活歴、ライフスタイルについても記載されており、利用者が望まれる生活を取り入れる努力をしています。作成した介護計画について、利用者や家族から同意のサインを得ています。職員は、毎日の申し送りで必要な情報の伝達と確認を行えるようになってきています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じた見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画については6ヶ月ごとに作成を行い、利用者の状況の変化などの必要に応じ、2～3ヶ月での見直しを行っています。目標については、日々の記録や必要に応じたミーティングで話し合いを行い、利用者の状態変化や状況、家族や利用者の要望に応じて見直しています。アセスメント記録、カンファレンス記録、モニタリング記録や見直された介護計画書もあります。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援（事業所及び法人関連事業の多機能性の活用）					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	同法人保育園のバザーや地域のお祭りへの参加、老人会のサロンへの参加と要請があれば協力も行い、また枚方市立の会館で作品展への参加も企画しています。通所介護やショートステイの実施についても今秋を目途に実施が可能かどうかの検討をすすめています。民生委員の集会では認知症に対する理解をすすめる話を行い、キャラバンメイトとして活動に参加しています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域支援の協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	月2回内科医の往診と、週1回訪問看護を利用しています。また、月1回は歯科医の往診があります。利用者家族の希望する外部受診については、家族の都合がつかない場合は職員が同行しています。ホームには非常勤看護師も職員として勤務しています。協力病院の医師や看護師に24時間オンコールにて状態の変化の報告や相談を行い、往診や緊急時の対応は確保しています。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	「看取りに関する考え方、及び重度化した場合における対応に係る指針」を作成しています。家族へは一人ひとり丁寧に話し合いの場を作り、入居時にも説明しています。また必用に応じて指針の見直しも考えています。状態により、医療機関と家族を含め、職員が話し合っています。また、終末期の職員体制の確保や、家族の援助について検討しています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	職員一人ひとりが勉強会やミーティングの際にプライバシーに関する意識の向上を図り、また、日々の介護の場面でも利用者を尊重した対応を心がけています。誇りやプライバシーには注意を払い、言葉使いへの注意を心がけています。非常勤職員も含めて秘密保持に関する誓約書をとっています。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一日の流れを作ってメリハリのある生活を送って頂けるよう支援しています。今までできていたことができなくなってきている場合など、できるだけ個別に配慮した支援を行っています。豊コーナーがあり、昔の家具やテーブルをおいて落ち着ける場所を確保され、外や菜園の見える所にベンチが配置されるなど、配慮しています。		
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食材は外注で一括購入しています。ホーム内にて大きなテーブルを囲み、利用者と共に作る調理の時間を可能な限り取るように工夫や努力をしています。食材の買出しも一緒に行き楽しんでもらうこともあります。野菜を刻んだり皮むきをしたり、また盛り付けや食器洗いについても見守りながら自然に行っています。職員も一緒に食べながら、介助を行ったり、見守ったりしています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴については、毎日行っていますが、一人あたり週3回を目安にしています。時間は15時から18時までとなっており、できるだけ利用者の要望に応じて入浴できるよう努めています。また利用者がゆったり入浴を楽しめるよう支援しています。入浴予約票を作成して、入浴を好まれない方に、お風呂の予約をしたことを伝え、入浴してもらう工夫をしています。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	利用者のできることを大切に、菜園の手入れ、洗濯物をハンガーにかける、調理の得意な方にはメニューを伺ったり、巡回図書を利用して本を読まれる方、書道の好きな方にはメニューを書いてもらう、踊りの好きな方には披露してもらう等、活躍の場を設けています。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	ホーム周辺には田んぼが広がっており、毎日の散歩はいろいろなコースを設けて、天候が良い日はできるだけ出かけるようにしています。家族とお誕生日の食事会に出かけたり、地域のネットワーク事業の「サロン」に参加したり、隣接保育園の行事に参加したりしています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	昼間は開錠しており、玄関からの出入りは自由です。外出しようとする利用者がおられないか常に見守りに対応し、安全確保のため人が通ると反応するチャイムを設置しています。天候の悪いときは、気分転換のためユニット間を行き来するなど配慮しています。		
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	避難訓練は定期的な実施に向けて努力していますが、利用者を含めた避難訓練は困難を伴うため、検討中です。甲種防火管理講習は2名受講済みで、9月にも1名受講予定です。消防署の協力を得た防災訓練についても計画中です。非常時の飲料水や非常食については確保しています。今後は、地域への協力要請について検討が望まれます。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	利用者一人ひとりの食事の摂取量や水分摂取量はチェックシートを作成し、把握しています。また栄養バランスについては、食材業者の管理栄養士が立てたものを、ホームの調理担当者が献立に生かしています。水分や栄養が足りない方には補食を用意したり、原因を追求しています。食事は利用者のペースで摂れるよう配慮し、さりげない支援をしています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	玄関には季節の花が植えられ、つばめの巣もあり、自然豊かな環境です。生活空間はゆったりとしていて採光も良く、オープンキッチンで利用者と共に料理を作ることができ、家庭的な雰囲気です。秋らしくお月見の作品を飾り、熱帯魚を飼うなどしています。中庭にはベンチを置き、利用者が外の空気に触れることができるスペースを確保しています。冬には和室にこたつを出して喜ばれています。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	各居室には洗面所、押入れが備え付けられています。また、タンスや椅子、仏壇、敷物、写真、自分の作品などが自宅から持ち込まれ、個性的で生活感があり、居心地の良いよう工夫しています。各居室からは、ベランダや芝生の庭に出られるようになっており、洗濯物は各自で干すことができます。		